

平成25年度共同研究の概要（成果報告書抜粋）

研究種目：一般研究

研究代表者：縄田 浩志（秋田大学国際資源学部・教授）

研究分担者：なし

研究題目（和文）：

スーダン東部半乾燥地における降水量の経年季節変動に対応した天水農耕システムの研究

研究概要（和文）：

本研究では、アフリカ・サーヘル移行帯の東側一帯における天水農耕システムと降水量の季節変動と経年変化との対応関係についての共同研究を行い、乾燥地に暮らす農耕民の適応戦略について明らかにしていくことを目的とする。

これまで干ばつが頻発して多くの被災民を生み出している、地球上において年降水量の平年変動率のもっとも高い地域の一角（篠田編 2009）において、天水農耕システムの詳細を明らかにすることによって、乾燥地の地域住民が育んできた適応戦略の持続性と脆弱性、潜在性と限界性の両面について、自然科学的手法と人文社会科学的手法を融合することにより検証していくことができる点に、本研究の特色がある。

初年度の平成25年度には、降水量の経年季節変動に関連した研究として、降雨量時系列に関して（その他・技術・調査報告(1)）、干ばつに対する現地住民の生態的・社会的・文化的・宗教的応答について（論文(3)）、雨乞い儀礼を通じた家畜頭数と放牧域の調整について（著書(2)）の3論考を日本語で学術雑誌に発表した。同時に、スーダン東部半乾燥地において侵入が進んでいる外来種メスキートと地下水の関連については、国際学術雑誌への投稿論文1本（論文(1)）と一般市販本における分担執筆5本（著書(1)、(3)～(6)）をまとめることができた。